



令和2年
夏号

発行：多治見市役所道路河川課 交通指導員

梅雨の季節がやって
きました！
今回は、この時期出番
の多い傘の扱い方につ
いてお伝えします。

どんな色の傘を選ぶといいの？



※薄暗くても目立つ色、**白や黄色**の傘を選ぶと、自分の存在を運転者に知らせることができます。

傘のさし方



- ①帯をはずします。
- ②傘の先を、下に向けて開きます。
(人に向けたり、上に向けて開くとケガをしてしまうかもしれません。)
- ③持ち手の部分を、**両手**で持ちます。
(片手で持っている、ふいに傘が倒れたりして危険です。)
- ④先を、まっすぐ上に向けて持って歩きます。
(肩にかけたり前に倒すと、周りが見えにくく、車の発見が遅れてしまいます。)

傘の扱い方の注意点



傘は先がとがっている、人をついたりしません。
おもちゃにして壊してしまわないように注意しましょう。



雨の多いこの季節に、ぜひ子どもたちと一緒に傘を扱う練習をしてみてくださいね。